



第9刊  
2013年12月10日発行  
Tsukuba for 3.11  
編集長：木村奈那子  
題字：小中大地

# ついに絵札完成！秋カルタ交流会

2013年11月の10日(日)秋まったただ中、本年度3回目の交流会『食欲！芸術！つくしまの秋〜つく×しま秋カルタ〜』が竹園交流センターにて行われました。忙しい中来てくださったみなさん、本当にありがとうございました！

すこしでも行ってよかった、楽しかったと思っただければ幸いです。

## カルタ作り

今回の交流会のメインイベント☆カルタの絵札作りでは、みなさんの芸術的センスに脱帽しました!! 本当に素敵な作品がたくさん完成し、次回の交流会で遊ぶのがとても楽しみです(\*^^\*)♪



## 起き上がり小法師

こちらも力作ぞろいで盛り上がりました！世界でひとつの自分だけの起き上がり小法師、大切にしてくださいね。

# 食欲！芸術！ つくしまの秋

## 〜つく×しま 秋カルタ〜



園田有紀乃

## 秋シチュー

お昼はお母さん方中心になって作ってくださったシチューをみんなで食べました。身も心もほっこり温まる優しいお味でした(^o^)/♡



ボールを使った  
ストレッチや



しおり作りも…♪



最初は「絵なんて描けないわ」とおっしゃっていた方も、最後はとても熱心に絵札作りに取り組んでくださり、私は本当に感激しました。みなさんと一緒にカルタ作りができて本当に楽しかったです。ご協力してくださったみなさん、本当に心から感謝いたします。今回の交流会はばっちり記念撮影ができたので、最後に載せたいと思います☆みなさん、素敵な時間をありがとうございました！



2  
0  
1  
3  
年  
学  
祭



福井俊介

2013年11月3、4日にTsukuba for 3・11は筑波大学の学園祭に出店しました。今回は屋内では、東北復興cafe(2013)を、屋外では、東北ほっくほっく亭という名前で出させていただきました。

東北復興cafe(2013)ではおいしい東北の食べ物の販売の他、僕たちの活動記録や活動写真の展示、さらに学祭中に活動報告会を行いました。

東北ほっくほっく亭では東北のおいしい食べ物を用意させていただきました。陸前高田のホルモンを使用した、気仙沼のB級グルメホルモン丼はその美味しい匂いに作っている間もついお腹が減ってしまいました。陸前高田、神田葡萄園さんのマスカットサイダーはその懐かしい瓶の容器とシユワリと美味しい味でたくさんの方に味わっていただきました。

東北復興cafe(2013)

の様子

東北復興cafe(2013)の入り口。かわいい看板が出迎えてくれます。中を見てみましょう!!



屋内の展示1

つくば、いわき(福島)、気仙沼(宮城)、陸前高田(岩手)での僕たちの今までの活動展示をしました。



屋内の展示2

これは通称BIGTANZAKU! 様々な地域で出会った方に願いや思いを書いていたいただき、一つの絵にしました。



今年もたくさんの方に来ていただいて本当に嬉しい限りです。おかげさまで、マスカットサイダーとはまぐりもなかクッキーは完売することができました。そして何よりもたくさんの方に東北の魅力について知っていただくことができたと思います。今回来た方も来れなかった方もまた来年、この小さな東北に足を運んでいただけたらと思います。

活動報告会

たくさんの方に僕たちの今までの活動を聞いていただきました。



東北ほっくほっく亭の様子

途中行列ができるほど、たくさんの方に来ていただいたほっくほっく亭。その美味しそうな匂いに周りのテントの方も買いに来てくれました!



またのお越しを  
お待ちしております!



# メンバー紹介

## ～つめきちゃん編～

名前：園田有紀乃

あだ名：つめきちゃん、つめ  
芸術専門学群 2年生



趣味：寝ること、食べること  
特技：交差とび笑

### Tsukuba for 3.11に 入った理由

最初は何もわからずに、紹介で気づいたら入っていたのですが、自分にも何かできることがある気がして、これまで続けてきました。

みんなに聞いてきました！

～つめきちゃんってこんな人～

かわいい よく笑う 絵がうまい！

うさんくさい 前歯

### みんなに一言！

TF3メンバーはみんな楽しくてまじめで大好きです！  
いろいろな経験をさせてくれて、本当に感謝してます。  
ありがとう！！



下田梢

つくばのおすすめスポット

# たんぽぽすと



木村奈那子

「人と人をつなぐ、つくばのアイデア発信基地」をコンセプトに、筑波大学の学生が行っている活動にかかわるものを商品にして販売する雑貨屋さんたんぽぽすと。「お客様に新しいアイデアを持ち帰ってもらえるようなお店」を目指しているそう。



毎月第1、第3土曜日につくばセンター Right on 前で開催しているつくばセンターマルシェで販売しています！  
10:00～15:00 + αでOpenしています。臨時でイベントへの参加もしています。Twitter(@tampopost)とFacebookにて出店情報をお届けしています。

最後に、たんぽぽすとのメンバー、山口未来さんより読者のみなさまへ一言！

『お店ではコーヒーなど飲みながらゆったりおしゃべりができるような場所になっています。ぜひ商品を見に、そして、私たちとのおしゃべりをたのしみに来てください！』

「コンセプトに合ったものなら何でも置いている」ということ。  
手づくり雑貨、野菜、写真集やフリーペーパーも置いています。  
もちろん、このつくしまも置いていただいています！  
「筑波大学農業系サークルのうりんむら」のお野菜やそのお野菜を加工した商品なども売っているとのこと！

# 「つくしまの声」大募集！！

読者のみなさまの「声」を取り入れ、  
自分たちの日々の活動をよりよいものにしていきたいと考えています！

## こんなことをしてみたい！

## 交流会ってどんなことをしているの？

## 筑波大生につたえたい！

## わたしにもできることありますか？

みなさまのご意見お待ちしております。

アドレス：tsukubafor311@gmail.com



大原光代

# 食と酒東北祭り

食の文化を守る

こんにちは。すっかり秋も過ぎ去り、冬が到来して寒くなりましたね。私たちは来年春を見据え、3月21日、22日の「食と酒東北祭り」の開催に向けて着々と準備を進めている次第でございます。準備はTsukuba for 311のメンバーと有志の筑波大生、合計20名で進めています。今回はこのイベントの準備を進めている間に感じたことをひとつ書きたいと思っています。

## ある地酒は、ある地域の大切な文化

地酒というのは、その地域とは切っても切れない存在なのだということなんです。というのも、地酒は全国的に有名ではないにしても、地元の方々は絶対知っていて、またその地酒を愛してやまない人が大勢いると感じたことからそのように思いました。地酒は、その地域での生活に欠かせないものになっており、ある地酒はある地域の文化になっていっていると思います。ですから、東北の地酒を大勢の方に飲んでいただくということは、東北の文化に触れていただくということ、さらには東北の魅力に触れていただくということと同じことなのではないかと考えております。魅力が大勢の方に知っていただけたら、それは、その文化を守ることにつながるのではないかと思えます。そんなことを考えつつ、新たなモチベーションにして、開催へむけて頑張っております。

### 告知「食と酒東北祭り」

東北のうまいもんを

食べつくし、飲みつくせ！

日程：2014年3月21日、22日

時間：11時～18時

場所：つくばセンター広場

(つくば駅 アイアイモール前広場)

概要：東北の美味しい酒と食べ物を

一堂に会した、日本酒版ビア

ガーデン



\*写真は、気仙沼市の男山本店さんで酒造体験をさせていただいた時の様子です。



立川哲之

今年もやります！

# 芋煮会！！

今年も芋煮の美味しい季節がやってきましたね！  
そうです！

冬のつくしま交流会と称しまして、

今年も芋煮会を開催いたします！



芋煮のほかに、

## カルタ 餅つき

などなど楽しいこと盛りだくさんで、

みなさんをお待ちしております！

【日時】 2014年2月9日

【場所】 松代交流センター

\*写真は2013年の芋煮会の様子です

立川哲之

頭の体操

# まちがい探し



今回はクリスマスのイラストです！  
左と右では違うところが5つあります。  
あなたはいくつ見つけられますか??



前回のまちがい探しの答え→

園田有紀乃

# ボランティアとははーい

No.2

**ボランティアとは何か**—それは、私たちの活動の中で常に課題になることである。二年前まで、「ボランティア」は、肉体労働、例えばがれき撤去や清掃活動などと思っていた。そのようなボランティアは、災害や何かの被害があった直後は確実に必要な作業である。しかし、がれきやごみなどを片づけ終わったら、それですべて終わりなのか。いや、そうではない。その後必要になるのは、精神的・身体的なボランティアだと思う。例えば、傾聴ボランティアや交流サロンの開催、体操教室の開催などがあると思う。東日本大震災の場合、津波の影響で家を奪われたため、学校の体育館での生活、狭い仮設住宅での生活をしている人が多い。慣れない場所での生活はストレスが溜まり、以前は風邪ひとつ引かなかった人でも体調を崩している。私が会ったことのある被災地に住む方でも、震災後体調を崩している人がほとんどである。そのような人々をサポートしていくこと、それがこれからのボランティアであると思う。

私たちの現在の活動は、交流会の開催、つくしまの発行、被災地での活動などである。私はこの活動を、自分たちだけが一方的にしているのでは意味がないと思っている。すべてにおいて、私たちと相手が存在する。相手がいなければ私たちは何もできないし、何も得るものがない。相手がいたとしても私たちが一方的にアクションを起こしていても、意味がない。私たちが相手も積極的に受け入れ、積極的に協力しあっていくことで、この活動が成り立っていると思う。本当に感謝してもしきれない思いである。また、多くの人と交流することで、多くの知識や考え方をすることもできる。普段の生活ではあまり経験することができない。ボランティアとは、「互いが助け合って成立するサポートである」と思った。多くの人との出会いと助けに感謝して、これからもずっと続けていきたい。



木村奈那子

## ～編集後記～

最近では紅葉も枯れてきて、みんな落ち葉になってしまいました。気温もぐっと低くなってきましたね。体調はいかがでしょう？風邪をひきやすい季節なので、お体に気を付けてお過ごしください！！

さて、今回も内容盛りだくさんのつくしまでしたが、いかがでしたでしょうか？交流会も今年度残すところあと一回！みなさま是非いらしてくださいね。楽しんでいただけるよう、頑張ってお準備していこうと思います。お楽しみに♪！！

今年も残すところあと1か月もなくなりました。今年はどうな年でしたか？12月は師走で忙しい時期でもありますが、焦りすぎずに余裕を持っていい年末を過ごしてください！また来年お会いできることを楽しみにしています！次号もお楽しみに (^-)/☆

編集長 木村奈那子



**COPY CENTER**

**T-ACT**  
つくばアクションプロジェクト